

(臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

抗菌薬適正使用支援チームによるメロペネム使用許可制導入が抗菌薬使用量と緑膿菌感受性に及ぼす影響の検討

[研究責任者]

江南厚生病院 感染制御部 鈴木 誠

[研究の概要]

江南厚生病院では、メロペネム（MEPM）の供給制限を契機として、薬剤師を中心とした抗菌薬適正使用支援チーム（AST）による MEPM 使用許可制を導入しました。本研究の目的は、MEPM 許可制の導入がカルバペネム系薬およびその他の抗緑膿菌薬の使用量、ならびに緑膿菌の感受性率に与える影響を明らかにすることです。さらに、副次的に抗緑膿菌薬使用量等の変化に伴う薬剤費を中心とした経済的影響についても評価します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2020 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日に当院で使用された抗緑膿菌薬を使用された患者さん。同期間に、培養検体から緑膿菌が検出された患者さん。

●利用するカルテ情報

MEPM、イミペネム／シラスタチン（IMP/CS）、タゾバクタム／ピペラシリン（TAZ/PIPC）、セフォゾプラン（CZOP）、セフェピム（CFPM）、レボフロキサシン（LVFX）、シプロフロキサシン（CPFX）の抗菌薬使用量。

また、上記抗菌薬のうち Clinical and Laboratory Standards Institute（CLSI）において判定基準が設定されている薬剤について、全培養検体から分離された緑膿菌の感受性率 等

[研究期間]

実施承認日から 2026 年 12 月 31 日

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報を使用しません。
研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は
利用しません。

[問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院 感染制御部 鈴川 誠

電話 0587-51-3333 FAX 0587-51-3337